

**製品名: IGFBP2 (12A1) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe12429**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50,IF-P 1:200-1:1000
分子量	35kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IGFBP2
別名	BP2; IBP2; IGF BP53; IGFBP2; IGFBP53;
遺伝子 ID	3485.0
SwissProt ID	P18065
免疫原	ヒト IGFBP2 の組み換えタンパク質

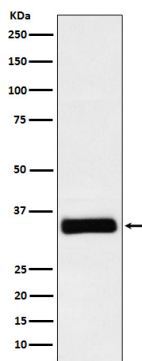
**背景**

IGF を介した成長および発達速度を阻害します。IGF 結合タンパク質は IGF の半減期を延長し、細胞培養における IGF の成長促進効果を阻害または促進することが示されています。IGF と細胞表面受容体との相互作用を変化させます。IGF を介した成長および発達速度を阻害します。IGF 結合タンパク質は IGF の半減期を延長し、細胞培養における IGF の成長促進効果を阻害または促進することが示されています。IGF と細胞表面受容体との相互作用を変化させます。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



SH-SY5Y 細胞溶解物における IGF2BP2 発現のウェスタンブロット解析。